



平成29年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年6月9日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <http://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 詞念夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理統括部長 (氏名) 竹之内 聡一郎

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成29年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第3四半期の業績(平成28年8月1日～平成29年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第3四半期	2,360	40.7	231		175		236	
28年7月期第3四半期	3,982	30.5	576	217.7	439	42.0	274	156.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第3四半期	29.38	
28年7月期第3四半期	35.03	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第3四半期	10,097	8,008	79.3	996.83
28年7月期	10,620	8,342	78.6	1,038.47

(参考)自己資本 29年7月期第3四半期 8,008百万円 28年7月期 8,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期		0.00		20.00	20.00
29年7月期		0.00			
29年7月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年7月期の業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150	41.1	320		310		325		40.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料] 8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年7月期3Q	8,042,881 株	28年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	29年7月期3Q	9,335 株	28年7月期	9,255 株
期中平均株式数 (四半期累計)	29年7月期3Q	8,033,584 株	28年7月期3Q	7,833,643 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資が緩やかな増加基調にあるほか、個人消費も底堅く推移しており、緩やかな回復基調が続きました。世界経済は、緩やかな回復に転じておりますが、米国新政権の政策運営やその新興国経済への影響、欧州各国の国政選挙等を巡る不確実性は根強く、世界経済全体は先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、世の中に存在する様々なモノがネットワークと繋がるI o T (Internet of Things) の進展によるデータセンター拡大に伴い、主にシリコンを材料とした半導体メモリーの需要が急増し、これに関連した設備投資が積極的に行われております。一方、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット (注) は、新たなモバイル機器や車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS (Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子) といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進みつつあるものの、当社の顧客である電子部品メーカー・デバイスメーカー各社は、複数の生産設備案件において最終ユーザーからの発注見極めに時間を要していることなどから、商談の長期化が続いております。

このような状況の下、当第3四半期累計期間は高周波デバイス等各種電子部品への設備投資需要の減速に加え、新規の生産設備案件が先延ばしとなる傾向が継続したことから、受注の伸び悩みが続き、当第3四半期累計期間の売上高は低水準な結果となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が2,360百万円(前年同期比40.7%減)、営業損失は231百万円(前年同期は営業利益576百万円)となりました。また、円安の影響による為替差益51百万円(前年同期は為替差損119百万円)が発生したことから、経常損失は175百万円(前年同期は経常利益439百万円)となりました。加えて、当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の取崩し105百万円を行った結果、法人税等は60百万円となり、四半期純損失は236百万円(前年同期は四半期純利益274百万円)となりました。

(用途別売上高)

用途	売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オプトエレクトロニクス分野	406,702	17.2	△48.2
電子部品分野	804,121	34.1	△60.4
シリコン分野	219,710	9.3	52.4
実装・表面処理分野	198,205	8.4	△14.2
表示デバイス分野	7,900	0.3	243.5
その他分野	98,964	4.2	△27.0
部品・メンテナンス	625,062	26.5	△4.7
合計	2,360,667	100.0	△40.7

(注) 当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット

半導体製造装置業界には、シリコン(Si=ケイ素)を材料とした半導体の製造装置を販売する企業は多く存在しますが、当社は化合物半導体や電子部品の製造装置を主力製品としております。シリコンを材料とした半導体は主にD-RAM、フラッシュメモリーなどに用いられますが、当社の扱う化合物半導体はガリウムヒ素(GaAs)、窒化ガリウム(GaN)、炭化シリコン(SiC)などを主体材料とし、シリコンに比べ高速信号処理に優れ、高電圧で動作したり、幅広い波長の光に反応したりと優れた特性を備えており、シリコンでは達成できない機能による用途・分野を日々開拓し、着実にその市場を拡大させております。現在、実用化されている主な用途・分野には、照明用(青色LED)に加え車載用に需要が拡大している高輝度LEDや、アジアでの通信用・小型プロジェクター向けに市場が拡大しているLD(オプトエレクトロニクス分野)、スマートフォンやタブレット型端末の普及で需要を牽引してきた高周波デバイス、省エネ対策として様々な研究開発が進んでいるパワーデバイスのほか、インクジェットプリンターヘッド、医療、ライフサイエンス、バイオなどで研究開発が進むMEMS(電子部品分野)などがあります。

化合物半導体製造装置の市場規模は、全半導体製造装置市場の10パーセント程度ではありますが、化合物半導体の加工は非常に困難であり、これを加工する半導体製造装置を製造するには高度な専門知識と技術の蓄積を要し、参入障壁の高い事業領域であります。当社は、創業以来この化合物半導体及び電子部品製造装置のマーケットに特化し、大学・官庁・研究機関などが主な販売先となる研究開発機市場に加えて、近年は電子部品メーカー・デバイスメーカー・情報通信機器メーカーなどの生産現場が主な販売先となる生産機市場に注力し、様々な電子機器に不可欠である高周波デバイス、コンデンサ、コイル、パワーユニットなどの電子部品市場での設備投資需要を取り込み、事業を展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第3四半期末の資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、6,396百万円で前事業年度末に比べ447百万円減少いたしました。未収還付法人税等が93百万円、仕掛品が65百万円増加した一方、売掛金が456百万円、現金及び預金が263百万円減少したのが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,700百万円で前事業年度末に比べ74百万円減少いたしました。保有する投資有価証券の時価が上昇したことにより投資有価証券が92百万円増加した一方、繰延税金資産が132百万円、機械及び装置が17百万円減少したのが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,349百万円で前事業年度末に比べ205百万円減少いたしました。未払金が91百万円、未払法人税等が77百万円減少したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、740百万円で前事業年度末に比べ17百万円増加いたしました。退職給付引当金が16百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、8,008百万円で前事業年度末に比べ334百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が396百万円減少したことなどによります。自己資本比率は79.3%と前事業年度末比0.7ポイント上昇いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績の進捗及び市場環境等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成29年2月21日付の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました平成29年7月期の通期の業績予想を修正しております。また、繰延税金資産の取崩し並びに平成28年9月7日付の当社「平成28年度7月期 決算短信 [日本基準] (非連結)」にて発表いたしました配当予想を修正しております。

詳細は6月9日に別途開示いたしました「業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,684,324	4,420,524
受取手形	40,709	70,778
売掛金	1,519,877	1,063,427
製品	29,652	—
仕掛品	468,288	533,838
原材料及び貯蔵品	106,751	100,250
前払費用	8,455	12,967
繰延税金資産	21,199	69,544
未収消費税等	—	48,566
未収還付法人税等	—	93,760
その他	29,027	51,408
貸倒引当金	△63,967	△68,122
流動資産合計	6,844,319	6,396,943

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	891,932	900,202
減価償却累計額	△616,278	△633,525
建物(純額)	275,654	266,677
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△23,482	△23,806
構築物(純額)	1,831	1,507
機械及び装置	739,594	751,373
減価償却累計額	△622,880	△651,911
機械及び装置(純額)	116,714	99,461
車両運搬具	48,546	48,869
減価償却累計額	△29,886	△34,772
車両運搬具(純額)	18,660	14,096
工具、器具及び備品	184,759	205,822
減価償却累計額	△162,998	△173,347
工具、器具及び備品(純額)	21,761	32,475
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	43,558	43,558
減価償却累計額	△25,376	△28,406
リース資産(純額)	18,181	15,151
建設仮勘定	187,403	191,556
有形固定資産合計	3,171,043	3,151,762
無形固定資産		
特許権	5,418	3,894
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	266	206
水道施設利用権	1,831	1,620
無形固定資産合計	10,479	8,684
投資その他の資産		
投資有価証券	101,266	194,054
関係会社株式	101,884	101,884
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	75,707	60,990
繰延税金資産	203,813	71,415
差入保証金	76,279	76,523
保険積立金	29,385	29,504
その他	867	919
投資その他の資産合計	594,204	540,293
固定資産合計	3,775,727	3,700,740
資産合計	10,620,046	10,097,683

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,573	309,111
短期借入金	800,000	800,000
リース債務	4,040	4,040
未払金	162,356	70,649
未払費用	33,457	34,496
未払法人税等	82,500	5,227
未払消費税等	52,896	—
前受金	811	54,027
預り金	28,244	17,302
賞与引当金	20,200	43,300
役員賞与引当金	9,118	—
製品保証引当金	15,500	11,200
流動負債合計	1,554,698	1,349,354
固定負債		
リース債務	14,141	11,111
長期末払金	707	555
退職給付引当金	359,463	375,567
役員退職慰労引当金	348,353	352,970
固定負債合計	722,665	740,204
負債合計	2,277,364	2,089,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	3,787,000	3,867,000
繰越利益剰余金	725,085	248,380
利益剰余金合計	4,571,585	4,174,880
自己株式	△10,443	△10,520
株主資本合計	8,304,317	7,907,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,365	100,589
評価・換算差額等合計	38,365	100,589
純資産合計	8,342,682	8,008,124
負債純資産合計	10,620,046	10,097,683

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)
売上高	3,982,266	2,360,667
売上原価	2,016,570	1,295,667
売上総利益	1,965,696	1,064,999
販売費及び一般管理費	1,389,132	1,296,366
営業利益又は営業損失(△)	576,563	△231,366
営業外収益		
受取利息	2,436	1,772
為替差益	—	51,837
固定資産売却益	1,692	—
雑収入	2,099	8,213
営業外収益合計	6,228	61,823
営業外費用		
支払利息	4,209	2,911
為替差損	119,199	—
株式交付費	11,332	—
売上割引	8,897	2,164
雑損失	0	470
営業外費用合計	143,638	5,545
経常利益又は経常損失(△)	439,153	△175,088
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	439,153	△175,088
法人税等	164,689	60,943
四半期純利益又は四半期純損失(△)	274,463	△236,032

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、当第3四半期会計期間において、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産の取崩しを実施し、税金費用105,051千円の計上を行っております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)		前事業年度 (自 平成27年8月1日 至 平成28年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	221,574	5.0	131,984	5.2	225,600	4.4
エッチング装置	3,099,609	70.3	1,398,748	55.7	3,603,415	69.7
洗浄装置	345,844	7.9	363,636	14.5	401,784	7.8
その他	741,213	16.8	618,386	24.6	937,456	18.1
合計	4,408,242	100.0	2,512,755	100.0	5,168,256	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)		前事業年度 (自 平成27年8月1日 至 平成28年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	135,083	38,530	352,090	227,600	135,083	19,730
エッチング装置	2,362,191	1,216,537	1,300,265	513,248	2,670,933	470,490
洗浄装置	326,415	56,600	310,044	82,366	455,427	106,200
その他	721,829	167,281	604,154	100,268	885,648	121,176
合計	3,545,519	1,478,949	2,566,553	923,483	4,147,092	717,596

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)		前事業年度 (自 平成27年8月1日 至 平成28年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	253,903	6.4	144,220	6.1	272,703	5.1
エッチング装置	2,699,824	67.8	1,257,506	53.3	3,754,613	70.2
洗浄装置	372,805	9.3	333,878	14.1	452,217	8.5
その他	655,733	16.5	625,062	26.5	865,658	16.2
合計	3,982,266	100.0	2,360,667	100.0	5,345,193	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分 (地域別)	前第3四半期累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)		前事業年度 (自 平成27年8月1日 至 平成28年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
アジア	721,350	82.5	617,400	90.6	826,204	76.1
北米	152,832	17.5	26,317	3.9	259,233	23.9
欧州	—	—	37,782	5.5	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
輸出販売高合計	874,183 (22.0%)	100.0	681,500 (28.9%)	100.0	1,085,438 (20.3%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。